

## 参 考 文 献

- 1) 星 清：やさしい微分方程式の数値解法，土木試験所月報 No. 395，  
pp. 29-38，1986.
- 2) 星 清：成分回帰分析手法，土木試験所月報 No. 397，  
pp. 21-26，1986.
- 3) 星 清：やさしい数学的最適化手法，土木試験所月報 No. 398，  
pp. 26-35，1986.
- 4) 小島紀男，町田東一：パソコンBASIC数値計算 I，東海大学出版会，  
pp. 186-190.
- 5) 北海道開発局土木試験所河川研究室：実用的な洪水流出計算法，  
1987
- 6) 星 清：洪水予測システムの基礎的検討(1)，土木試験所月報 No. 385，  
pp. 42-51，1985.

## 編集後記

昨年、ゴールデンウィークぼけが抜けきらぬ頃、水工部長の「お前らゼミやるぞ！」のドスのきいた一言で目が覚め、水文学ゼミは始まった。

蓋を開けてみると環境研究室・河川研究室・コンサルタントの合同ゼミである。第1回目は顔見せということもあり、自己紹介プラス軽い講義で終わるかと思いきや、いきなり講義に入ってしまった。ついこの間まで学生だった私は、「これが社会というものか」と感心している間もなく、難しい式が次から次へと出てきて、頭がパニックに陥り掛けているのが分かり、周りも同じだろうと見渡すと皆「うん、うん」とうなずいて理解しているのを見て、完璧にパニックに堕ちた。しかし、回数を重ねるに連れ、講義の内容も理解出来るようになり、プログラムも作れるようになった。毎回出される宿題も期限前日に徹夜して仕上げるという学生スタイルは変わらないものの、なんとか提出し、その宿題の内容が技術資料となって研究所月報に掲載されています。月報に載せる際には、どのように書いたら理解してもらえるだろうか、計算ミスはしていないかと厳しいお目付役の下で皆、頭を悩ませて作成しました。その成果を合本という形で表すことができました。

確かに、今見直しても内容は難しいものの、問題を自分の手で一つ一つ丁寧に解いていくと、理解出来るものになっていると思います。河川に関わる以上、雨が降って、水がどう出るかという問題には背を向けられません。これを機会に皆さんも流出解析してみませんか。本書に対するご意見・ご要望があれば、環境・河川研究室までお寄せ頂ければ参考にしたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

尚、本書の作成には以下の方々が携わってきました。

開発土木研究所

水工部長 星 清 (講師)

環境研究室 中津川 誠、谷 昭彦、山口 昌志

河川研究室 鳥谷部 寿人、金高 州吾、三浦 敦禎、市川 嘉輝

松木設計事務所 白川 俊也、柴田 春幸

北開水工コンサルタント 佐伯 礼子